

令和6年度 神奈川県精神科病院協会 看護部長会第2回研修会 議事録

1. 日時： 令和6年10月16日（水） 14：30～16：00
2. 場所： ビジョンセンター横浜 3階309室
3. 参加者： 会場10名 オンライン26名 計36名
4. 担当役員：司会 栗田病院 大森葉子（看護部長）
書記 北小田原病院 伊達美香（看護部長）

5. 研修会

テーマ 「摂食嚥下障害における誤嚥性肺炎の予防と包括的食支援」

講師 NPO法人 口から食べる幸せを守る会 理事長 小山 珠美 先生

内容

1) 担当理事 黒岩 隆 先生 挨拶

相州病院でも患者の高齢化が進んでおり、頭の中に誤嚥について、嚥下についてが日々浮かんでいます。今日は「摂食嚥下障害における誤嚥性肺炎の予防と包括的食支援」のテーマでお話し頂けるという事で、明日への看護の手助けとなるよう祈っております。よろしく申し上げます。

2) 講義

講義内容は別紙、研修資料参照（事前配布及び当日会場にて配布）

3) 質疑・応答

会場より1件の質問

質問：横浜相原病院 牛腸好美 看護部長

当院でも精神、認知、内科、合併症の患者様がいらっしゃる。ST、医師、歯科の方々の判断やVF等の検査で嚥下を評価しているが、看護師が食事を上手に楽しく食べるようにする、看護の力が大切だと実感した。

その上で医師に対し、どのようにアプローチすれば良いか教えて頂きたい。

回答：医師が看護師を信頼していないから聞いてくれない。看護師が勉強会をする等、技術を高める努力をする。また「一緒にリスクを背負いましょう」と言えるコミュニケーションスキルを身に付ける事が必要。時間はかかるが自分達の課題を見つけ自分達が変わる努力をする。そうすれば自ずと医師も変わる。医師からの信頼を勝ち取る事ができる。

4) 担当理事 黒岩 隆 先生 挨拶

内容豊かで新鮮な分かりやすい講演をありがとうございました。

文責 北小田原病院 伊達美香